

## 鹿児島大学認定コーディネーター制度報告（H29年度）

1 制度の概要	1
(1) 認定コーディネーターのメリット	
(2) H29年度の進め方	
(3) 認定コーディネーターの在籍する連携機関	
2 研修会の開催	4
(1) 認定研修会（H29.10開催）	
3 認定コーディネーターの活動実績	4
(1) 制度及び研究シーズ等の広報	
(2) 本学主催の会議・シンポジウム等への参加及び広報	
(3) 本学への技術課題等の橋渡し	
（参考資料）	
・ 研修会資料	A1

### （主な経緯等）

#### H27年度

- H27. 6 他大学の調査、制度の検討・打合せ
- H27. 7 金融機関への説明、研修会等の検討
- H27. 9 秘密保持契約の締結（7金融機関）
- H27. 9. 25 研修会開催・認定書交付（第1期7機関40名／認定コーディネーター制度の開始）
- H28. 2. 18 スキルアップ研修会開催
- H28. 2. 24 大学発マッチングミーティングへの出席
- H28. 3. 4 //

#### H28年度

- H28. 9. 5 スキルアップ研修会開催
- H28. 10. 12 研修会開催・認定書交付（第2期6機関22名）
- H28. 11-12 意見交換会
- H29. 3. 2 大学発ベンチャービジネス報告会への出席

#### H29年度

- H29. 10. 16 研修会開催・認定書交付（第3期6機関19名／新規8名 更新11名）  
（H30.3現在 計6金融機関41名）

# 1 鹿児島大学認定コーディネーター制度の概要

## ○目的

連携機関において発掘した企業の抱える技術課題を、認定コーディネーターと大学との連携を通して、地域の共通テーマとして設定し、個別課題の解決に留まらない骨太の地域プロジェクトテーマを設定する。そのテーマの下に、研究会活動を置き、自主研究開発、大学との共同・受託研究へ繋げ、さらに金融機関のネットワークを活用し事業化を促す。ひいては地域イノベーション創出に寄与する。

## ○認定

所定の研修を受講した候補者を、鹿児島大学産学官連携推進センター長が認定する。

## ○任期

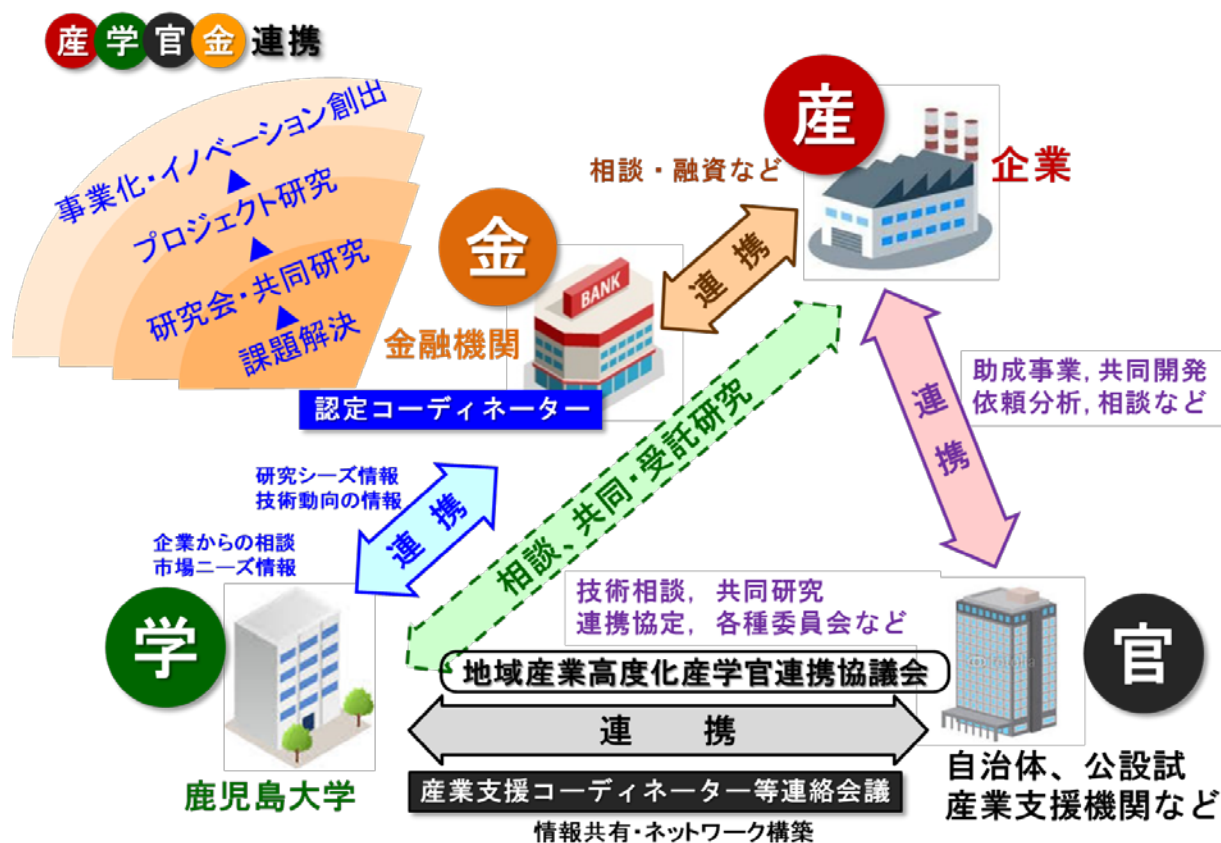
任期は2年間とし、更新要件を満たしたうえで、更新できるものとする。

## ○活動

- (1) 大学の研究シーズ・研究情報、セミナー情報などを企業等に情報提供する。
- (2) 企業等からの相談案件を大学のコーディネーターへ橋渡しする。
- (3) 大学のコーディネーターや教員等とともに、企業の技術課題を調査・検討し解決を図る。
- (4) 技術課題の解決を研究会や共同研究、地域プロジェクトなどへ発展させ事業化を図る。

## ○報告書

報告書を各認定コーディネーターごとに提出する。



(1) 認定コーディネーター制度のメリット

連携機関（金融機関）

- (1) 顧客企業に対する課題解決機能、コンサルティング機能の強化  
→顧客企業の満足度を高められる、また取引先の増加に繋がる
- (2) 課題解決により顧客企業の業績向上に繋がる
- (3) 金融機関の職員のスキルアップ、人材育成に繋がる
- (4) 大学等の技術情報や最新の技術動向などを収集しやすくなる
- (5) 地域貢献、地域経済の活性化・地域振興に繋がる

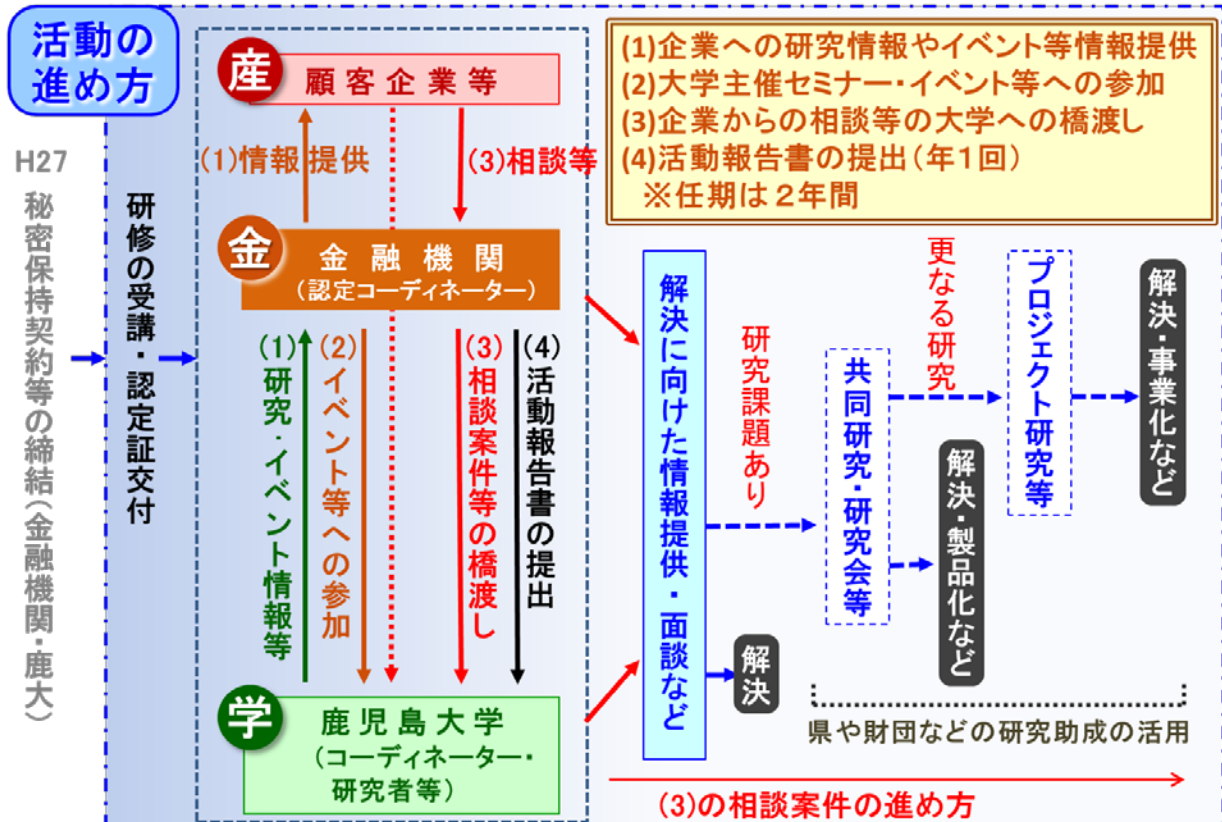
企業

- (1) 大学の技術や知識を活かした課題解決に繋がられる
- (2) 新技術・新製品の情報を得やすくなる
- (3) 大学等と連携（共同研究など）することで、対外的なPR効果も期待
- (4) 研究開発資金等の助成金・融資が受け易くなる
- (5) 金融機関が関わることで、大学等に対する敷居が下がる
- (6) 地域貢献、地域経済の活性化・地域振興に繋がる

大学

- (1) 企業に研究シーズを伝える機会が増える
- (2) 保有技術の実用化・製品化・事業化に繋がる
- (3) 企業現場のニーズを知る機会が増える
- (4) 実用化指向の提案公募型研究開発に応募しやすくなる
- (5) 地域貢献、地域経済の活性化・地域振興に繋がる

(2) H29年度（10月～）の活動の進め方



### (3) 認定コーディネーターの在籍する連携機関

認定コーディネーターは、平成27年9月に7金融機関40名（第1期）を認定し、平成28年10月に6金融機関22名（第2期）を認定した。認定コーディネーターの任期は2年であり、第3期は第1期の更新11名、新規8名の計19名を認定した。

認定コーディネーターの属する連携機関は次の6金融機関（計41名／第2期と第3期の計）

連携機関（問合せ窓口）	本社等所在地	TEL
鹿児島銀行（営業支援部／地域開発部）	鹿児島市下荒田4-46-20	099-239-9720
南日本銀行（営業統括部）	鹿児島市山下町1-1	099-226-2861
鹿児島信用金庫（業務統括部）	鹿児島市名山町1-23	099-224-8411
鹿児島相互信用金庫（お客さまサポートセンター）	鹿児島市与次郎1-6-30	099-259-5222
鹿児島興業信用組合（総務部総務課）	鹿児島市東千石町17-11	099-224-3177
商工中金 鹿児島支店（営業企画課）	鹿児島市東千石町1-38 アイムビル2F	099-223-4101

## 2 研修会の開催（認定に係る研修会）

【日 時】平成29年10月16日（月）14:00～17:00

【場 所】産学官連携推進センター2階セミナー室

【主 催】鹿児島大学産学官連携推進センター

【参加者】8名（4金融機関）

【内 容】

1 開会あいさつ（近藤センター長）

2 研修

(1) 認定コーディネーターの概要（永吉）

- ・ガイダンス（大学と産学官連携推進センターの概要）
- ・県内の産業支援機関、産学官連携の取組状況
- ・産学連携の現状と効果及び課題、
- ・産学金連携
- ・認定コーディネーター制度（目的、メリット、活動の進め方、昨年度の活動状況など）

(2) 大学研究シーズとコーディネートノウハウ（中武准教授）

- ・研究成果の直接的なアウトプットと展開例「アンヒドロース」
- ・研究シーズと検索方法（研究シーズ集、研究者総覧、研究機器等の検索）
- ・何かを求めているとき（新事業への着手意思、構想レベル、事業機会の探索）
- ・展示会と情報収集（技術とビジネスの相互作用）
- ・シーズ活用の事業に関する注意（法律・規則、社会規範、表現、知財、情報管理、安全性）
- ・産学連携の契約（秘密保持、奨学寄附金、共同研究、受託研究、実施許諾）

(3) グループ討議（中武准教授）

- ・グループ分け（4名×2グループ）
- ・産学金連携の4事例を読み1事例（2グループとも塩昆布の製造技術）を選択
- ・研究シーズ集等を使って、塩昆布の製造技術を本学に当てはめた場合の研究者の具体例と専門分野、そして共同研究テーマ名を設定し発表

3 認定証交付（中武准教授）

- ・出席の8名に認定証を交付した

4 閉会あいさつ（中武准教授）



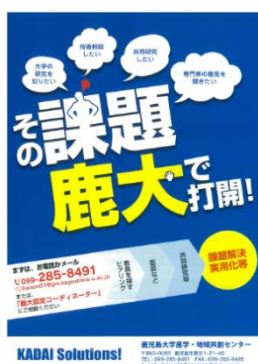
## 研修プログラム

時刻	時間	内 容	担 当
14:00-14:05	5分	開会あいさつ	産学官連携推進センター 近藤センター長
14:05-14:30	25分	認定コーディネーター制度の概要 ・ 鹿児島大学と産学官連携推進センターの概要 ・ 産学連携の現状、課題、効果 ・ 認定コーディネーター制度の概要 ・ 活動の進め方	産学官連携部門 永吉特任専門員
14:30-15:00	30分	大学研究シーズとコーディネートノウハウ ・ 研究成果と大学発ベンチャー ・ 研究シーズと検索方法 ・ 共同研究、受託研究と奨学寄付金 ・ 提案公募型研究開発などの公的支援制度 ・ 打合せで交換する情報と秘密保持契約	産学官連携部門 中武准教授
15:00-15:20	20分	休憩	
15:20-16:50	90分	産学連携の事例とコーディネート活動の進め方 (グループ討議) ・ 連携事例をもとに成功要因・失敗要因などを検討 ・ コーディネート活動の進め方 ・ 質疑応答、意見交換	産学官連携部門 中武准教授 平原特任専門員 永吉特任専門員
16:50-17:00	10分	認定証の交付 閉会あいさつ	産学官連携推進センター 中武准教授長

### 3 認定コーディネーターの活動実績

#### (1) 認定コーディネーター制度及び研究シーズ等の広報

制度の広報用チラシを作成し、金融機関の支店等に配置し、顧客企業に広報した。



広報用チラシ



研究シーズ集



## (2) 本学主催のシンポジウムや会議等への参加及び広報

認定コーディネーターは、本学主催のシンポジウムや会議、交流会等へ参加するとともに、取引企業に対し、シンポジウムやセミナーなどの開催について取引企業等に広報した。

主なイベント等

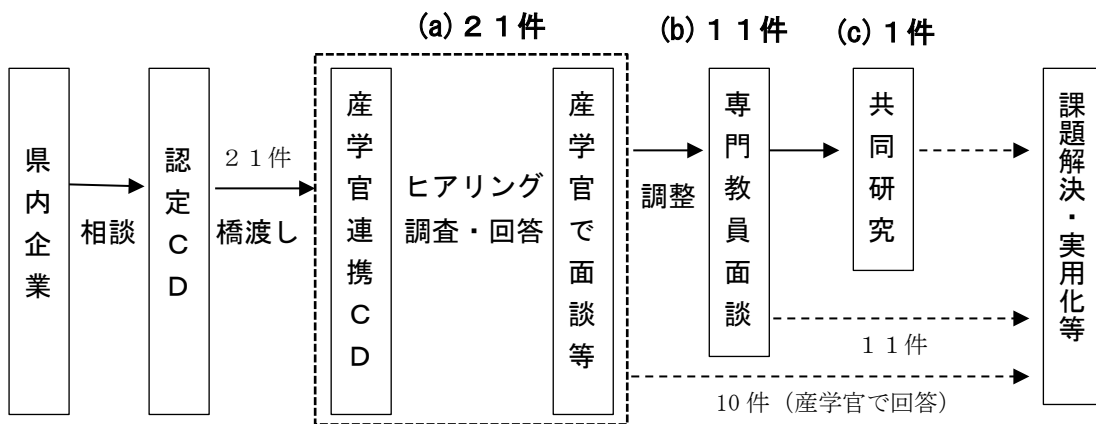
- ・産業支援コーディネーター等会議 (6/28、12/21、3/20)
- ・食と健康シンポジウム (11/13)
- ・知財セミナー (1/26) など

## (3) 本学への技術課題等の橋渡し

### ①技術課題の橋渡し案件

認定コーディネーターが本学へ橋渡しした案件は、計21件であった。(H29.4～H30.3)

- (a) 産学官連携CDへの橋渡し案件 21件 (うち11件は専門教員と面談)
- (b) 専門教員対応(面談など)案件 11件 (うち1件は今年度の共同研究へ)
- (c) 共同研究(今年度)案件 1件



### ②相談案件の橋渡し用「技術相談メモ」

企業からの相談を整理し、容易に橋渡しできるよう、企業用の相談申込書または認定コーディネーター用の相談メモの様式及び橋渡しの要領等について作成・配布した。

(企業用)相談申込書 / (認定コーディネーター用)相談メモ		作成者 ○○○○	
企業名等	(株)かごしま〇〇食品	(所在地)	〇〇市 日付 H28.11.12
企業担当者	〇〇課 桜島桜子	(電話等)	099-xxx-xxxx name@domain.com
相談件名	桜島小ミカンの皮の〇〇成分を使って、〇〇に効果のある機能性カライモ飴を製品化したい		
相談内容	(分かっていること、調べたこと) ・桜島小ミカンの皮には〇〇成分が、他の柑橘類に比べ〇倍含まれていて、〇〇に効果があると文献やWebページに記載されている ・ミカンの皮を〇〇処理し、カライモ飴に混ぜたり、飴の表面にコーティングした製品はないので、新しい機能性カライモ飴として製品化したい  (分からないこと、相談したいこと) ・ミカンの皮の〇〇成分を効率よく抽出する方法を知りたい ・製品化した場合、〇〇に効果があるかどうかの実験方法及び効果の表示方法など相談したい		
相談項目	<input checked="" type="checkbox"/> 専門知識 <input type="checkbox"/> 分析依頼 <input type="checkbox"/> 装置利用 <input type="checkbox"/> 技術評価 <input checked="" type="checkbox"/> 研究依頼 <input type="checkbox"/> その他		
相談理由 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 研究シーズ集やWebページなどで興味を持ったので利用(実用化)したい <input checked="" type="checkbox"/> アイデアや技術課題等があり、Webページや専門書等で調べたが解決しなかった <input checked="" type="checkbox"/> アイデアや技術課題等があり、同業者や専門家等に相談したが解決しなかった <input type="checkbox"/> その他( )		
事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> 同業者やWebページなどで調べたが類似のアイデア等や解決法は見つからなかった <input type="checkbox"/> 類似の製品等があるが、考えているアイデア(製品等)が性能や価格等で優れている(優れている点: ) <input type="checkbox"/> 調べていない		

## 県内企業の皆さま

◎お近くの**金融機関**や**認定コーディネーター**を介した相談をご利用下さい。  
(費用は必要ありません)

**鹿児島大学産学官連携推進センター**では、「認定コーディネーター制度」の活動のひとつとして、大学の研究内容等の紹介や、企業の方々が抱える課題等の解決に向けた支援を実施しています。企業の方々と大学との橋渡しは、連携機関の認定コーディネーターが行います。

### ●ご利用いただける方々

- ・企業及び個人事業主の方々（業種や事業規模などは問いません）

### ●ご相談できる内容

- ・企業の皆さまが抱える技術課題や流通・販売面等での課題
- ・大学の研究シーズや研究内容など詳しく知りたいこと など

### ●相談を申し込まれた方へのご連絡

- ・認定コーディネーターまたはその連携機関から直接ご連絡させていただきます。  
あるいは、鹿児島大学産学官連携推進センターから直接ご連絡させていただきます。

### ●費用について

- ・ご相談は無料です。共同研究等へ進んだ場合は別途協議となります。

### ●ご相談 ◎まずはご相談！

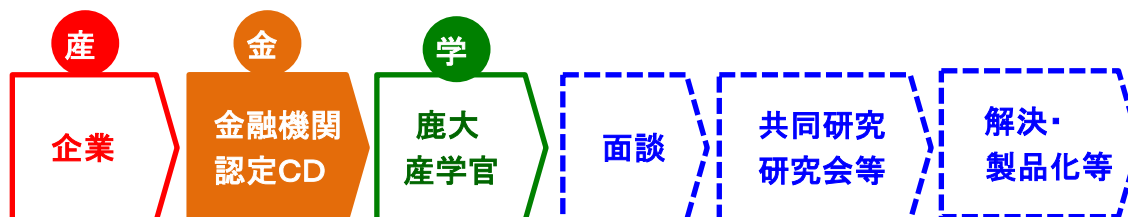
- ・認定コーディネーターの在籍する連携機関の連絡先  
または次の連絡先にご相談ください。

鹿児島大学産学官連携推進センター 産学官連携部門

TEL 099-285-8498 FAX 099-285-8495

E-mail liaison01\_AT\_gm.kagoshima-u.ac.jp （\_AT\_を@に変更）

### ※企業からの技術相談の橋渡し



連携機関（2018年3月現在）

連携機関（問合せ窓口）	本社等所在地	TEL
鹿児島銀行（営業支援部／地域開発部）	鹿児島市下荒田4-46-20	099-239-9720
南日本銀行（営業統括部）	鹿児島市山下町1-1	099-226-2861
鹿児島信用金庫（業務統括部）	鹿児島市名山町1-23	099-224-8411
鹿児島相互信用金庫（お客さまサポートセンター）	鹿児島市与次郎1-6-30	099-259-5222
鹿児島興業信用組合（総務部総務課）	鹿児島市東千石町17-11	099-224-3177
商工中金 鹿児島支店（営業企画課）	鹿児島市東千石町1-38	099-223-4101